

Press Release

令和8年9月25日
山梨県監査委員事務局
次長 村田 勝秀

電話 055-223-1825 (内線 8721)

報道関係者各位

令和7年度内部統制評価報告書審査意見書について

監査委員は、地方自治法第150条第5項の規定に基づき審査に付された、令和7年度内部統制評価報告書について審査を行い、その結果を取りまとめた審査意見書を知事に提出しました。

なお、令和8年9月山梨県議会定例会において、知事から監査委員の意見を付けた令和7年度内部統制評価報告書が認定に付されます。

監査委員による審査意見書は次のとおりです。

令和7年度山梨県内部統制評価報告書審査意見書

第1 審査の対象 令和7年度山梨県内部統制評価報告書

第2 審査の期間 令和8年8月12日から令和8年9月7日まで

第3 審査の方法

山梨県監査基準に準拠し、知事から提出された内部統制評価報告書について、知事による評価が適切に実施され、内部統制の不備について重大な不備に当たるかどうかの判断が適切に行われているかといった観点から、評価手続の適否及び評価結果の適否を審査事項として、内部統制評価部局から内部統制評価に関する状況を聴取するとともに、その他の監査等で得られた知見を踏まえて審査を行った。

第4 審査の結果及び意見

令和7年度山梨県内部統制評価報告書について、評価手続及び評価結果に係る記載は概ね適切であると認められる。

なお、定例監査の際に同様の事務処理ミスが複数の機関で繰り返し見受けられることから、注意喚起の取組と併せて、再発防止に向けた対応の充実が求められる。

については、要因分析の結果を踏まえるなど、内部統制制度の効果的な運用に向けて組織的に取り組まれない。